

東部地区 8 町内会, 防災の取り組み

わが国は世界でも有数の地震大国です。歴史的にも関東大震災など数々の災害がありました。津波という言葉が世界共通語となったことでもわかります。6年前の3.11 東北大震災は大きな衝撃でした。熊本地震は余震、本震で広い地域に災害をもたらしました。第3期福祉保健計画第1分科会は、地域の防災対策です。各町内会の防災への取り組みについて取材しました。

心肺蘇生訓練 や AED 取扱い講習

消防署の指導で心肺蘇生訓練やAED取扱い講習を毎年実施している町内は西部町内会、堀口町内会、西柴団地自治会です。

スタンドパイプ式初期消火器

堀口町内会と望洋台町内会はスタンドパイプ式初期消火器を備えた。望洋台町内会は、放水訓練を行った。



望洋台町内会放水訓練

東部町内会 『私たちは大丈夫 旗』



門扉に掲げた「私たちは大丈夫旗」旗

災害時各家庭の状況をこの旗で表示できるように配付した。災害発生時には町内会役員、声かけボランティアが巡回し安全確認をします。災害時援護要望の登録を募り、世帯状況の把握を行った。

南部自治会 救急医療情報シート

一人でいるときや外出先で具合が悪くなったとき、駆けつけた救急隊員にすばやく自身の情報を知ってもらうための情報キットを全世帯に配付、また防災支えあいカード（要援護者、労力・資材の提供者等）の更新を行った。今後、防災対策の充実・具現化を図っていく。

北部自治会 安否確認ステッカー

会長、副会長、防災委員による自主防災組織のもと、「無事」「助けが必要」「安否不明」の3枚のステッカーを作成した。各世帯に「無事」「助けが必要」ステッカーを配付、安否確認支援者には「安否不明」ステッカーを配付した。災害時、各世帯は状況を玄関先に掲示し、支援者は状況を確認し対応する。3枚のステッカーで安否確認



地域防災拠点

西柴小学校では西柴団地と横濱サウスが、西柴中学校では谷津坂東部・谷津坂西部・谷津坂南部・谷津坂北部・望洋台・堀口の6町内会が毎年防災訓練を実施しています。

望洋台町内会 起震車体験・放水訓練

要支援者リストの更新、地域内の安否確認活動を実施及び緊急班の編成を確認した。防災訓練では起震車体験を行った。『災害時行動指針』を作成し各戸配付した。初期消火器の購入、災害備蓄品の補充及び発電機、油圧機の機能テストを行った。



4人の起震車体験

堀口町内会 防災活動部隊 お助け隊を 設置



初期消火器

防災委員会を設置、活動部隊（お助け隊）を構成、要援護者支援班、避難誘導班、救護班、消火班、炊き出し班で災害対応に当る。消火訓練を計画中

西柴団地自治会 まず自助 次が近助

自治会組織として3年前に「防犯・防災部」を「防犯部」と「防災統括部」に分けた。担当役員と5名の部員が毎月定例会を開催、防災意識の啓発を意図して「西柴防災ニュース」を発行し、各戸配付している。まず第1は自分の命は自分でまもる「自助」を、第2は近所同士の助け合い「近助」と「要支援者の救助」（「黄色いバンダナは無事のしるし」30号掲載）第3は発災時の備えとして「拠点での訓練」でした。「西柴防災ニュース」では横浜市の家具転倒防止取り付けなど情報提供や防災グッズの販売案内、バンダナがトールの実施状況など掲載している。バンダナの掲出率は92.1%と住民の防災意識の浸透率を見ることができる。消火栓放水訓練を3月に予定。要支援者カード「助けてカード」の取り組みを企画、更なる災害時支援対策を検討中です。

第3分科会 障害者支援 りんごの森からお知らせ 基幹相談支援センターに変更

平成28年度より、リンゴの森の相談事業の名称を「基幹相談支援センター」に変更しました。相談員も3名から5名に増員され、今まで以上に区役所との連携を強め、障害のある当事者やその家族にとって、気楽に相談できる窓口として利用してほしいと思います。どんなことでもご相談下さい。電話：045-784-2709 施設長 佐々木画生

自由に過ごせる放課後の居場所

文庫幼稚園・西柴保育園・ 金沢びよっこ保育園と懇談

「スペース谷津坂」

開室日：毎月第2第4水曜日
 時間：4月～9月 15：00～17：30
 10月～3月 15：00～16：30
 場所：谷津坂会館
 見守りスタッフ：常時3名



ボール投げ、ゲーム遊びなど思い思いに楽しむ子どもたち

放課後、子どもたちが安心して過ごせる居場所として昨年10月にオープンしました。多いときには小学生を中心に15人ほどが集まり、宿題やゲーム、アクセサリー作りなど、思い思いの過ごし方をしています。谷津坂文庫の本を読んだり、DVDを借りていく子どもも増えました。

最近では、幼児を連れてお母さんの参加もあり、年齢を超えた交流も見られます。地域の方々も、将棋や昔遊びなどを通して子ども達と交流してもらえたらと願っています。子ども達には第2・第4水曜日だけというのがまだ定着せず、「今日は空いていないの？」とよく尋ねるそうだ。また開室時間も子ども達にとって短いようで、「えっ！もう終わり？」と不満そうです。子ども達の思いを受けとめ、今後の課題とします。

恒例になった、文庫幼稚園、西柴保育園、金沢びよっこ保育園との懇談会が今年も1月29日に行われました。民生児童委員代表、主任児童委員、当地区社協の子育て支援部スタッフが参加して、子育て支援のための地域連携について話し合いました。

三園からは、園庭開放をはじめ各園の行事やイベントに、当地区の子育て中の親子の参加状況について報告がありました。また、核家族が進む中、保育園に預けて働きながら子育てをしているお母さんの負担は大きい。特に子どもの体調が悪くなった時など、子どもはもちろん、親にとっても園にとっても大きな試練であるとの話がありました。だが、様々な経験を重ねながら親子とも成長していくという園側からの言葉が心に残りました。また、当地区で行っている「親子の広場」は、保育園、幼稚園に入る前の乳幼児やお母さん達にとって、群れて遊ぶ経験の場、親同士のコミュニケーションの場の役割を果たしていることを再認識しました。意義ある懇談会でした。



遊びにおいでよ～親子の広場



男性の地域デビュー

まつぼっくり

日時 毎週金曜日 10時～12時
 場所 谷津坂会館
 内容 乳幼児とお母さんの広場
 フリースペース de お楽しみタイム

どんぐり

日時 毎週水曜日 10時～12時
 場所 横浜サウスハーモニープラザ
 内容 乳幼児とお母さんの広場
 フリースペース de お楽しみタイム

メンズ エクササイズ

日時 毎月第2水曜日 10時～
 場所 谷津坂会館
 参加費 3ヶ月/1,000円
 指導者 金沢スポーツセンター
 池田美紀先生

あなたがボランティアを始めたきっかけは？ ボランティアさんは地域の人材



峯岸さん

平成14年から12年間、谷津坂文庫の代表として活動に関わりました。谷津坂文庫は、昭和48年にお母様達のボランティアから始まり営々と続いています。

平成24年に地区社協の支援を得てリニューアルし活性化、44年目を迎えています。継続の大切さを実感しています。現在、谷津坂文庫と「どんぐり」のスタッフとして楽しく活動しています。



本間さん

民生委員の方から配食サービスのお話を伺いました。最初は不安でしたが、お弁当の下準備、配達をしておりました。その後、買い物、調理にも加わり皆様のお料理の手際の良さ、味付け、盛り付け、レシピ等々とても勉強になります。

大勢の人達と話し合える時間を感謝しています。



杉山さん

金沢東部地区支部社協（西柴団社サービス）の発足からボランティアに応募し20余年がたち、地域の素晴らしい仲間たちとふれあいました。昨年は配食サービス15周年を迎え、我が年齢に驚かされましたがこれからも皆様と共に楽しく続けたいと思います。援助するものが最も援助を受けるという「ヘルパー・セラピー原則」を実感しています。



藤本さん

地区社協の配食サービス開始当初配食の予定をお知らせするカレンダーづくりをしたのがボランティアの始まりです。調理は7年間続けました。現在は在宅福祉サービスで利用者とボランティアをつなげるコーディネートをしています。

活動を通してふれあった方々は私にとって宝です。

障害者理解講座

2月14日 谷津坂会館

「障害を持つ人が暮らしやすい地域を目指して」を目標に掲げた第3分科会が、主に民生委員を対象に「障害者理解講座」を開催。

最初に「金沢区障害者後見の支援室・ほなみ」から、この制度は親亡き後も地域で暮らし続けたいと願う障害者を支援する横浜市独自の事業であることや、「あんしんキーパー」という地域の障害者の見守り役を募集中との説明を受けました。

この後、障がい児者支援・啓発ネット“わっしょい”のスタッフがピンクのジャンパーで登場！ 4人共、障害者のお母さんです。

我が子に障害があるとわかった時の思いを語る体験談から始まり、参加者がいくつかのロールプレイ【・軍手を二重にはめて鶴を折る・ペットボトルの穴から覗いてみる・チョコという言葉だけで意思を伝える・電車内での困った行為への対応（写真）など】を行いながら、障害者の不便さを理解し温かく対応して欲しいという山岸代表の熱意溢れるお話を伺いました。

「障害者は不便であっても不幸ではありません。必要なのは同情ではなく、周り人々の理解と愛ある見守りです。」



民生委員と主任児童委員

担当の民生委員さんにご相談下さい

担当地区名	氏名	電話
谷津坂東部	黒田 矩敬	781-0141
谷津坂西部	青木 伸一	785-8410
谷津坂南部	藤又 康	781-7477
谷津坂北部	松隈 浪子	782-3620
望洋台	藤田 康之	701-8511
堀口第一	小杉 孝雄	701-9985
堀口第二	杉山 喜子	788-6062
西柴 1B・2B・8B	瀬川 常子	783-9026
西柴 2B・3B	宮内ハル子	781-3282
西柴 3B・4B	桐木 勝子	782-1852
西柴 5B・6B	下村 節子	701-3009
西柴 4B・7B	田中 恵子	782-4138
西柴 9B	小林 壽美	782-3473
横濱サウス	渡辺 洋子	787-3579
主任児童委員	西川真理子	784-8033
主任児童委員	芦川 紀子	781-5381

宮原みどりさん 地域活動功労者として表彰



受賞おめでとうございます！

配食サービスのお弁当の懸紙作りを担当して15年、四季の香りを盛り込んだ心温まる懸紙は、お弁当を受け取る方々に微笑みを届けています。豊富な食材を使った手作りの美味しさに、懸紙が一層の価値を添えていると言えます。長年のこの活動に対して、地域活動功労者として表彰されました。

和食は和色？

「和食は和色で出来ている」これは、某食品メーカーのコピーです。日本古来の「和色」の微妙な「色合い」について説明するのはとても難しいので、このメーカーの新聞広告を参考にしていくつかの色をご紹介します。

- 肉じゃがにくじゃが 深支子ふかぢこ
- 五目豆ごもつゆ 丁字色ていじいろ
- 栗きんとんくりきんとん 鬱金色うこんいろ
- 焼きなすあおしろ 青白あおしろ 椽えん
- 卵焼きたまご 黄槿色きはだいろ
- 鯖の押しずしさば 縹色はなだいろ

～ちょっと気になる漢字の話～

- 若竹煮わかしほ 木賊色もくそくいろ
- 桜もちさくらもち 一斤染いちじんぞめ
- ふきの煮物ふきのなまめ 鶺鴒葱せせりう
- 鯉のたたきこいすけ 深緋ふかあけ
- 桜えびさくらえび 石竹色せきしやくいろ
- そばそば 桜鼠さくらねずみ
- 鯛の兜焼きたうい 鴉色くろ
- 数の子かひらすず 刈安かりやす
- いくらいくら 井い 猩々しょうじょう 緋ひ
- うにうに 井い 縹せう
- 日本人の繊細な感覚が生み出した和色に思いを馳せながら、和食をいただくのも一興ではないでしょうか。
- サウス 渡辺洋子

あたらしい企画！土曜塾

今年度も土曜塾が開催されます。定着した「英語で遊ぼう」「筆で遊ぼう」「囲碁・将棋教室」「あそび広場」に加えて、8月に「塩づくり体験」「海苔づくり」を企画しています。

海と山に囲まれた金沢区ならではの体験ができそうです。追って「土曜塾リーフレット」でお知らせします。ご期待下さい。

谷津坂文庫から お薦めの3冊

- グラグラ笑って共感してください！
『九十歳。何がめでたい』 佐藤愛子 著
愛子センセイの怒りの金言！
- 寝かしつけにたった10分って本当？
『おやすみ、ロジャー（魔法のぐっすり絵本）』
カール＝ヨハン・エリオン 著
やさしく、語りかけに挑戦してください。
- 私の孫たちへー平和憲法の思い
『平和主義憲法を手離すな』 高村讓 著
戦争を知らない子供達への熱いメッセージ。

蔵書 1352冊 DVD 72枚

皆様のご利用をお待ちしております。

火・木・金 10時～12時 谷津坂会館1階

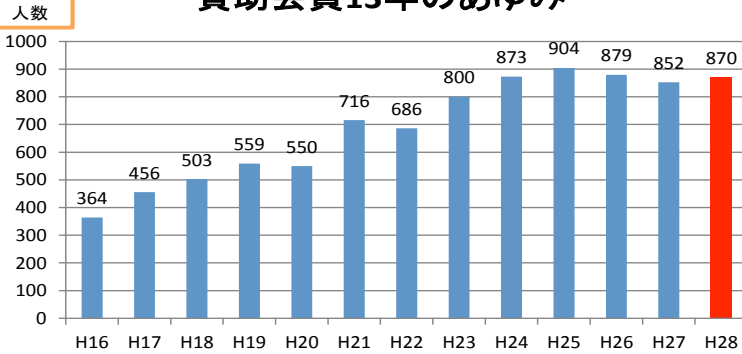
賛助会員ご協力に感謝

当地区社協の活動は皆様の暖かいご支援のもとで活動しております。配食サービス、在宅福祉サービス、青少年健全育成、子育て支援の4部門に加えて、文庫活動や土曜塾などの支援活動で、過ごし易い地域づくりを目指して頑張っています。平成 25 年度をピークに賛助会員数が減少しましたが、今年度増加しました。一層のご支援をお願い申し上げます。

会長 渡辺 孝一郎



賛助会員13年のあゆみ



平成28年度 賛助会員

町内会別	27年度(人)	28年度(人)	世帯数
谷津坂東部	53	54	183
谷津坂西部	119	124	316
谷津坂南部	95	106	318
谷津坂北部	89	81	238
望 洋 台	44	52	177
堀 口	97	90	430
サ ウ ス	27	36	312
西 柴 団 地	323	322	1474
地 区 外	5	5	
合 計	852	870	3448

平成29年2月23日現在

ご寄付を頂戴した紙面をかき厚く御礼申し

ご寄付のお礼

方々のご芳名を掲載します。上げます。

市川咲子 上原 弘 上池美勢子 斉藤英子 重松 誠 豊田和子 松本弘 松本雅子 米倉信子 吉満 肇 渡辺英美江 匿名 4 名 (敬称略) 賛助会納入時 32名 合計 47名からご寄付がありました。寄付金合計 78600 円 ありがとうございます。

編集後記 : 33号は各町内会の防災について取り上げました。防災意識をたかめましょう。障害者理解の取り組みで2回目になる「わっしょい」のワークショップを、また新たに谷津坂文庫から本の紹介をしました。ご感想をお寄せください。

編集委員 植田住代 瀬川常子 渡辺洋子 渡辺英美江

平成28年度の活動報告

定例活動	配食サービス 毎月第1・2・3木 32回/年
	在宅福祉サービス 毎週火・木 97回/年
	親子の広場どんぐり 毎週水 47回/年
	親子の広場まつぼっくり 毎週金 29回/年
	にししば土曜塾 毎月第1・3土 23回/年
	谷津坂文庫 毎月火・木・金 153回/年
スペース谷津坂 10月開始 毎月第2・4水	
メンズエクササイズ 10月開始 毎月第2水	

定例会議	執行委員会12回/年(4/8・5/6・6/3・7/8 8/5・9/2・10/14・11/4・12/2・1/6・2/3・3/3)
	青少年育成部会 9回/年(4/6・5/11・6/8・ 7/6・7/10/5・11/2・12/7・2/1)
	子育て支援部 5回/年(4/7・5/31・6/17・ 8/3・3/23)

その他行事・会議

4/4	第3期福祉保健計画 リーダー会議 9/26
4/14	第3期福祉保健計画 第2分科会 5/27
4/15	区社協 事務局長会議 第3金/毎月 11回
4/23	金沢東部地区推進連絡会 11/26
4/27	第3期福祉保健計画 第4分科会 7回/年
4/27	第3期福祉保健計画第5分科会 11回/年
5/27	金沢東部地区社協 評議員会(総会)
6/14	能見台ケアプラささえあい連絡会 9/30
6/25	地区連合町内会理事会 12回/年
6/25	ふれあい秋祭り委員会 6/25 9/24 10/29
6/30	配食サービス料理講習会
7/2	社明大会(映画「みんなの学校」)
7/5	在宅福祉サービス部 全体会議
7/8	第2回健やか子育て連絡会 事務局会議
7/25	赤ちゃんと遊ぼう 8/3 8/8 8/12 8/24
10/22	ミニ集会(子育てしやすい地域をすすめる会)
11/6	金沢東部地区ふれあい秋祭り
11/11	「地域づくり塾かなざわ」第3講 事例発表
11/22	「地域づくり塾かなざわ」フィールドワーク受入れ
11/24	よこはま地域福祉フォーラム
11/26	ふれあい秋祭り反省会
1/28	新春のつどい
2/3	にししば土曜塾 実行委員会
2/11	福祉のつどい/表彰式
2/14	障害者理解講座

